

主体的で深い学びの創造に向けて

～1人1台タブレット端末の導入～

教育指導課指導係 ☎ 0824-73-1184

現在、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICT（情報通信技術）の活用が進んでいます。これからの変化の激しい社会に対応し活躍する子どもたちには、生活の中でICTを活用する機会がますます増えてきます。

また、学校教育では、「知識・技能」や「思考力」「表現力」などとともに学習の基盤となる力として、「コミュニケーション能力」「情報活用能力」の育成が求められています。

市は、市内全ての小中学校へ、インターネット環境と児童生徒1人1台のタブレット端末を整備しました。令和3年度から、タブレット端末などのICTの活用を通して、情報活用能力の育成を図り、より一層子どもたちの学ぶ意欲を高めながら、主体的で深い学びとなる授業を目指します。

タブレット端末の活用によって充実する学習

調べる

各教科の学習や活動でインターネットを利用し、記事や動画などのさまざまな情報を、自分から進んで収集・整理・分析することができます。



見る

タブレット端末のカメラ機能を活用することで、例えば、体育科の授業で運動の様子を撮影し、その画像や動画を見て、自分の動きを確認することができます。また、理科の授業では、観察・実験の様子を繰り返し再生するなどして、より細かな分析が可能になります。



まとめる・話し合う・発表する

タブレット端末は、鉛筆やノートとともに、よりよく学習するために活用します。作文やプレゼンテーション資料などを推敲することや、写真・音声・動画などを使った多様な資料・作品を制作することができます。また、作成した資料を使って、自分の考えやグループでまとめたことなどを分かりやすく友達に伝えることができます。

